

青パイヤ 収穫!!

10月26日、青パイヤの収穫セレモニーが、日野高校黒坂校舎ほ場で行われました。

町の新たな特産品化を目指し、栽培にチャレンジしている青パイヤ。当日は、根雨小学校の5年生5人と、奥ひの青パイヤ研究会（川北皓貴会長）の会員が収穫を行いました。2メートル以上に成長した青パイヤの木には20個以上の実が成り、中には実の重さが1kg近くまであるものも。子どもたちは実の大きさに驚きながら、次々と収穫していきました。



▲初めて見る青パイヤに興味津々

給食メニュー

「青パイヤのソテー」

収穫された青パイヤは、10月29日、町内小中学校の学校給食で提供されました。

この日の給食メニューは「青パイヤのソテー」。短冊状にカットされた青パイヤが入ったメニューに子どもたちは、「シャキシャキしてておいしかった」「また食べてみたい」と、初めて体験する食感を堪能したようです。



懐かしい写真に囲まれて語り合い

昔話に花を咲かせて 別所地区で日置美也子写真展

10月16日と17日の2日間、別所地区内で、「ありがとう出会いの中で 日置美也子写真展『日野町別所より』」（別所有志主催）が開かれました。これは、県の補助金を活用し行われたもので、過去に別所地区内で撮影された写真家日置美也子さんの写真や、別所集落の各家で保管されていた写真を持ち寄り、展示が行われました。

展示スペースではコーヒーやお菓子なども振る舞われ、写真展に訪れた人は、昔を懐かしみながら語り合っていました。



爽やかな自然を満喫しながらサウナ体験

10月30日、カヌーの里公園（安原）で、日野川テントサウナイベントが行われました。

これは、鵜の池公園キャンプ場を運営する株式会社スマイルキューブが主催となって行われたもの。日野川沿いの河川敷に張られたテント型のサウナに、事前に予約していた約25人が、気持ち良い汗を流しながらサウナを体験していました。

テントサウナに入ったあとは、日野川を水風呂代わりに泳ぐ人の姿も。また、日野町の特産品を使った料理が振る舞われるなど、参加者は町の自然を満喫していました。

ネイチャーサウナ体験を日野川で 日野川テントサウナイベント



スポーツの秋。健脚を競う

日野町駅伝競走大会



全力で日野のまちなかを走り抜ける

初秋の出雲街道根雨宿で健脚を競う、第62回体力づくり日野町駅伝競走大会が、10月9日、役場から根雨1区までの折り返しコースで開かれました。当日は、駅伝の部に一般部門から6チーム(内1チーム女子の部)、中学生から4チームが出場。また、小学生ミニマラソン低学年の部(1キロ)に5人、高学年の部(1・8キロ)に12人が出場し、健脚を競いました。選手らは、沿道から送られた拍手に元気をもらいながら、ゴールを目指して駆け抜けていきました。

新旧2基のたたら跡を見比べて

「オノ原たたら跡」発掘調査見学会



たたら製鉄の地下構造を見る貴重な機会に

10月2日、下管内で、「オノ原たたら跡」発掘調査見学会が行われました。オノ原たたら跡は、国道180号道路改良工事に伴い出土したもので、同一地点に新旧2つのたたらが存在した類例のない遺跡です。遺跡の一部は資料として採取されますが、残りはコンクリートで覆われ見ることができなくなります。当日は、高さ3メートルにおよぶたたら製の地下構造が2基並ぶ様子を、午前の部と午後の部合わせて33人が見学に訪れました。

宝仏山登山客の目印に

日野高校生が宝仏山に標識を設置

10月7日、日野高校アグリライフ系列の3年生6人が、宝仏山に標識を設置しました。

日野高校では、学校演習林の間伐材を活用し、宝仏山登山道の標識を作製する取り組みを行ってきました。今年度は、生徒たちが実際に宝仏山に登山し、作製した標識を自らの手で設置する作業を実践。宝仏山の9・8・7・5合目に標識を設置しました。



▲登山客がわかりやすいよう、目立つ標識に◀山頂の景色は格別!

ふるさとのことば

～日野弁なんぞかんぞ～ 第99回

「ギン」 「ギン」

今回は、方言ではありませんが、せんが、現在失われつつある言葉を紹介しします。それが「半ドン」。業務や授業を午前中で終え、午後が休みとなることをいいます。

その昔、特に学校は今のよう週休二日制(週五日制)ではなく、土曜日は午前中が授業で午後から休みというのが普通でした。そうした事情から、現在、「半ドン」という言葉を使う機会が激減しているわけですが、

呼ばれるのか。ドンって何? 由来は諸説あるのですが、一番有名なのは「半分どころ」の略とするものです。どんたくといえ、博多どんたくを思い浮かべますが、実はオランダ語で日曜日を意味する zondag (ゾンターク) が語源とされています。半分日曜日(休日)だから「半ドン」なんですね。

日本語として定着している言葉が、実は外来語由来である、という例は結構あります。いつかご紹介しましょうね!

協力: 日野町歴史民俗資料館友の会